

8 運転する前に

運転する前に、各部の点検(始業点検)を必ず実施してください。この点検を行うことで、ブームスプレーヤに関する事故あるいは故障などを未然に防止することができます。

(1) 前日の異常箇所

前日の作業で、気付いた異常箇所が修理できているか点検します。

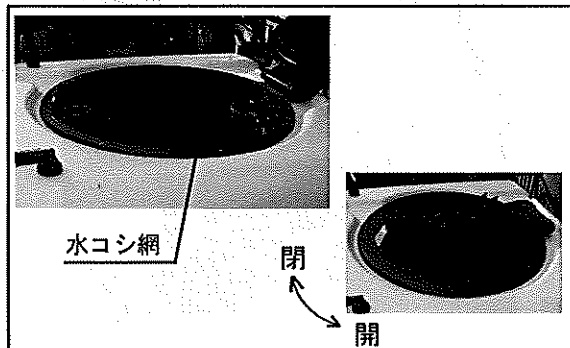
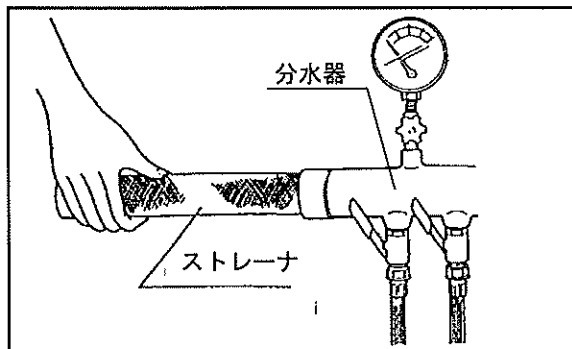
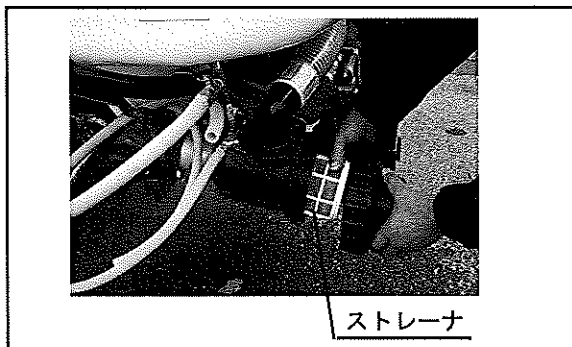
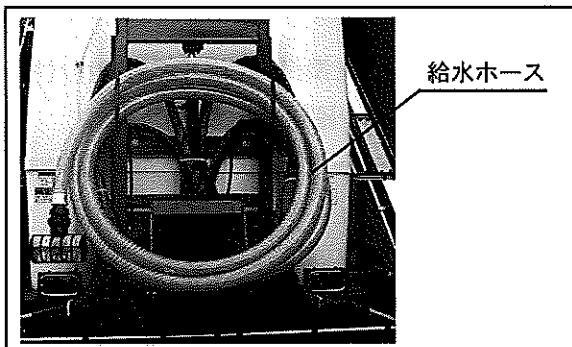
(2) 各部の点検

①各部締付け部(ボルト、ナット、ピン、ホース、接続部等)のゆるみを点検します。

注意 ●特に吸水ホースの接続部より空気を吸い込むと、吸水しなかったり、ポンプが異常音を発生したりして破損します。

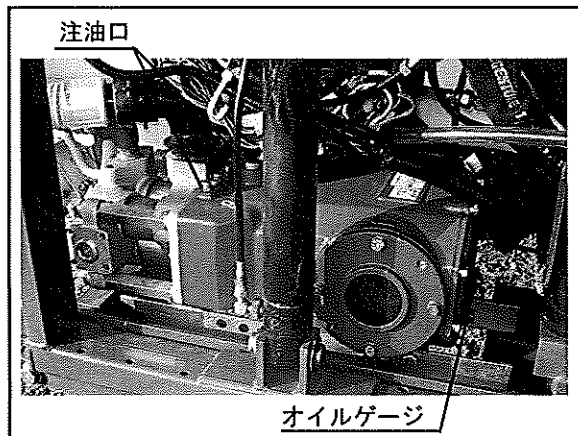
②配管ホースにつまりや破損及びよじれ等がないか点検します。

③給水ホースストレーナ、吸水ホースストレーナ内のストレーナ、分水器内のストレーナ、薬剤タンク水入口の水コシ網を点検清掃します。



(3) 各部への給油

①噴霧用ポンプ



(イ) クランクケースに、オイルゲージの赤点までオイルが入っているか、また汚れていないか確かめます。

使用オイル エンジンオイル SAE10W-30

SC級以上 容量 2.0L

標準オイル交換時間：初 回・・・50時間目

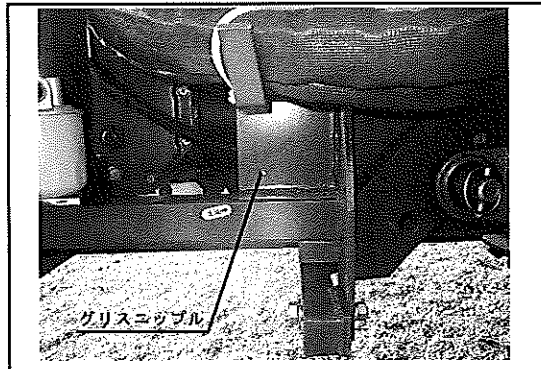
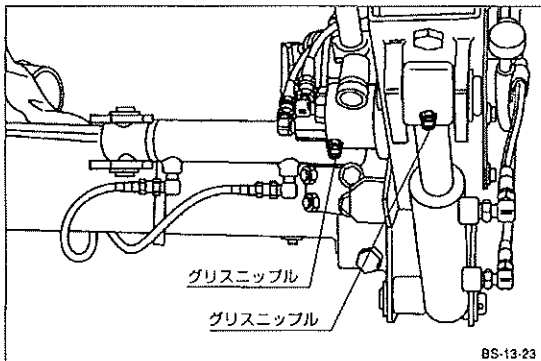
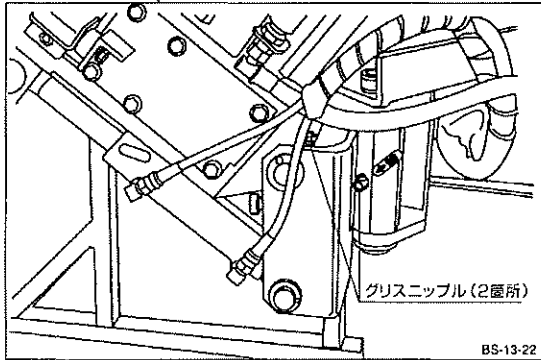
2回目以・・・100時間毎

(ロ) クランクケースのシリンダ取付け部にある3個の注油口に油差してエンジンオイル(始業時毎)を数滴注油します。

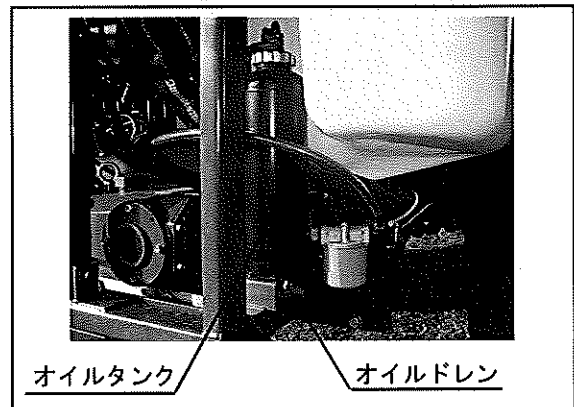
注意 ●運転毎には必ず行ってください。

②グリスニップル個所のユニバーサルジョイント (両側2ヶ所)、ブーム各リンク部 (右、左ブーム4ヶ所)、開閉シリンダ (2ヶ所)、上下シリンダ (2ヶ所)、薬剤タンク攪拌機用等へ、グリスアップします。

グリス 20時間毎 適量



③油圧オイルの油量を点検し、不足している時は補充します。



使用オイル 耐摩耗性油圧作動油 ISO VG32
容量 4.0L

標準オイル交換時間：初 回・・・50時間目
2回目以降・・・2年毎

④油圧用オイルフィルタの交換は、定期的に行うようにしてください。

高圧フィルタ P/No.172999

フィルタ交換時期……………2年毎

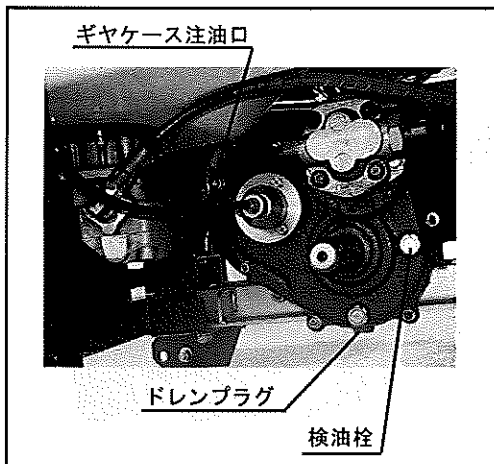
カートリッジフィルタ HC1-G(150W)

P/No.172845

カートリッジ交換時期…200時間

注意

- 上記の油類の種類、交換時期は厳守してください。機械の寿命が短くなることがあります。
- カートリッジフィルタは、性能を維持するために200時間での交換をお勧め致します。なお、ブームの動きが遅くなったり、油圧機器類からの異音、振動などが生じた場合は、目つまりしていることがあります。その時は都度交換するようにしてください。



使用オイル ギヤオイル SAE90
容量 0.6L

- ⑤ギヤケース外部へ油がモレていないか確認します。オイル交換は初回50時間目、2回目以降は600時間毎に行ってください。

注意 ●注油栓及びドレンプラグを外し、オイルを抜きます。注油の場合は、検油栓を外し、検油栓よりオイルが出るまで入れます。油量は少な過ぎると機械に悪影響があります。

⑥ブーム調整及び給油

ブーム伸縮用ワイヤが伸びた場合、チェーンの張りを調整してください。

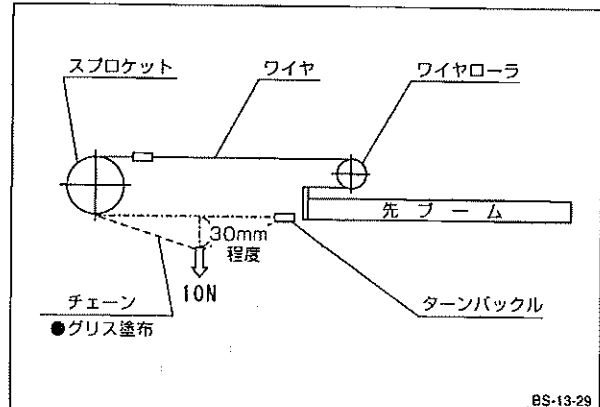
ブームを一杯に伸ばした状態で、ターンバックルを回し調整します。

(たるんだ状態で使用すると、ワイヤがはずれる危険があります。)

(この状態は、ブームを伸ばしていきストッパに当たった時、ブーム本体にチェーンが接触しない程度です。)

注意 ●ブーム伸縮用チェーン、ワイヤには年1回錆防止のため、全面にグリスを塗布してください。

ブーム調節及び給油の際は、最寄りの取扱店へ、ご相談ください。



BS-13-29